

2024 11月

鷹栖町図書室に新しく入った本 (10月分より)

☆新しく入った本は他にもございます。図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



たかす(一般)

『助太刀稼業1、2』(佐伯泰英/文藝春秋)
『なぞとき』(畠中恵/新潮社)

『わたしの知る花』(町田そのこ/中央公論新社)
『文化の脱走兵』(名倉有里/講談社)
『ブレイクスルー』(カタリン・カリコ/河出書房新社)
『子どものこころの発達がよくわかる本』(坂上裕子/講談社)
『ウイスキーを楽しむ教科書』(土屋守/ナツメ社)
『もう一度、泳ぐ。』(池江璃花子/文藝春秋)
『韓国ドラマを深く面白くする22人の脚本家たち』(ハンギョレ21/クオン)

たかす(児童)

『にじ』(武田康男/岩崎書店)
『うつくしいってなに?』(荒井良二/小学館)

『パパのおむかえ』(田中ちはる/日本標準)
『きつねの橋 巻の3』(久保田香里/偕成社)
『パインさんのごちゃまぜかんぱん』(レオナード・ケスラー/大日本図書)
『時間の学校』(原田知広/ニュートンプレス)

きたの(一般)

『物語を継ぐ者は』(実石沙枝子/祥伝社)
『下町サイキック』(吉本ばなな/河出書房新社)

『いなくななくならなくならないで』(向坂くじら/河出書房新社)
『軽いノリノリのイルカ』(又吉直樹/マガジンハウス)
『OSO18を追い』(藤本靖/文藝春秋)
『間違いだらけの電力問題』(山本隆三/ウェッジ)
『美しいトマトの科学図鑑』(矢守航/創元社)

きたの(児童)

『森のカプセル探検帳』(宮國晋一/技術評論社)
『よるのはじまり』(海野あした/ニコモ)

『見つけ屋とお知らせ屋』(廣嶋玲子/静山社)
『ようかいばあちゃんのおおまがどき』(最上一平/新日本出版社)
『ふしぎなグミ実験室』(グミラボ編集室/メイツユニバーサルコンテンツ)

『鹿鳴館の花は散らず』(植松三十里/PHP研究所)
『ムーンシャイン』(円城塔/東京創元社)
『籠の中のふたり』(薬丸岳/双葉社)
『法定占拠』(呉勝浩/講談社)
『あるある! 田舎相続』(澤井修司/講談社)
『アレンジ自在のパジャマ大全』(幸田あおい/日本ヴォーグ社)
『校歌斉唱!』(渡辺裕/新潮社)

『がったい!』(萬田翠/講談社)
『こまったこまった』(山村浩二/アリス館)
『なでなでにっこり!』(新井洋行/童心社)
『ルルとララのかみかみグミ』(あんびるやすこ/岩崎書店)
『全校生徒ラジオ』(有沢佳映/講談社)
『22世紀からきたでっかいタイ』(木下政人/Gakken)

『越境』(砂川文次/文藝春秋)
『モノ MONO』(小野寺史宜/美業之日本社)
『銀色のステイヤー』(河崎秋子/KADOKAWA)
『鷹の飛翔』(堂場瞬一/講談社)
『すごい「お清め」完全版』(中井耀香/KADOKAWA)
『職場の同僚のフォローに疲れたら読む本』(佐藤恵美/PHP研究所)
『ファーターズ50年史 完全保存版』(ベースボール・マガジン社)

『星空とホテル』(天野聡美/文芸社)
『いえができるよ』(バイロン・バートン/好学社)
『はばたいたフトン』(さかもとすみよ/佼成出版社)
『みおちゃんも猫好きだよね?』(神戸遙真/金の星社)
『ひっくり返す人類学』(奥野克巳/筑摩書房) ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～

図書室だより



『第3回鷹栖町図書室まつり』を11月23日(土)10時より開催いたします。スペシャルおはなし会や本のリサイクル市、工作やスタンプラリーなど盛りだくさん! また、小野文庫開設記念として、小野米一さんによる講演会も行います。ぜひ遊びに来てくださいね♪ 詳しくは鷹栖町図書室(☎87-2486)にお問い合わせください。



10月の本棚リレーは御厩京香さんでした。



「音楽のある図書室」はbranchさんによるフルート演奏でした。